
山梨大学教育学部附属教育実践総合センター

センターだより 第161号（通巻第228号）

2018年4月12日 発行
山梨大学教育学部
附属教育実践総合センター
TEL 055-220-8325、FAX 055-220-8790
E-mail:jissen@ml.yamanashi.ac.jp
URL:<http://www.cer.yamanashi.ac.jp/>

※このセンターだよりで紹介した研究会、研修、教育フォーラムに関するお知らせは、改変しない限り、自由に複写、配布していただいて結構です。

■ 着任の御挨拶

教員養成推進部門・附属学校園共同研究部門 渡井 渡

この度、教育実践総合センターの特任教授として、お世話になります渡井渡です。私はこの3月まで、山梨県教育委員会の教育監として県教育行政に携わっておりました。その仕事の一つとして、「山梨県教育委員会と山梨大学教育学部との連携協力に関する覚書」や「山梨大学教職大学院に係る教員の派遣等に関する覚書」の締結に取り組んで参りました。

今年度は山梨大学の一員として、県教委との更なる連携強化とともに、教員養成と附属学校園の共同研究の推進に向けて、精一杯務めて参ります。どうかよろしく願いいたします。

■ 着任のごあいさつ

教育実践研究部門（教職大学院 客員教授） 氏原一宏

4月より教育実践総合センターにお世話になることになりました氏原一宏です。昨年4月より教職大学院で実務家教員として院生の皆さんとともに学ぶ日々を過ごさせていただいております。学校現場での経験をもとに、微力ながら教員養成に貢献できればと考えていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

■ 着任のごあいさつ

教育実践研究部門（教職大学院 客員教授） 小川 巖

客員教授として着任しました小川巖です。学校現場とは異なる大学の教育環境に期待と同時に不安も感じていますが、与えられた責任をしっかりと果たしていこうと決意を新たにしているところです。私は37年間県立高校に勤務した後、一昨年度は県教育委員会事務局、昨年度は総合教育センターに勤務しました。未来の教師を目指す学生の皆さんと現職の先生方に現場と行政の経験で得たものをお伝えしていきたいと考えています。

1年間よろしく願いいたします。

■ センター着任のご挨拶

教育実践研究部門 臨床教育研究領域（教育支援科学講座） 川本静香

この度、教育実践総合センターに着任いたしました、川本静香と申します。昨年度までは、立命館大学にて専門研究員をしておりました。専門は臨床心理学で、スクールカウンセラーやコミュニティ支援を中心にこれまで研究や実践活動をして参りました。

センターでは、「子どもと親と教師のための教育相談」や、学校臨床、教育相談について、担当をさせていただきます。山梨大学、そして山梨県には今回のご縁で初めてお世話になりますが、微力ながら精一杯務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

■ センター着任のご挨拶

教育実践研究部門 教育実践研究領域（教職大学院） 山本英寿

この4月より山梨大学と県教育委員会との人事交流により教育実践センターにお世話になることになりました山本英寿と申します。新しい環境に戸惑いながらも身の引き締まる思いです。

今日、学校教育の多難な状況において、教師の高い専門性や実践的な力量が強く求められています。そんな中、当センターの役割はとても重要であります。様々な活動を通して、教師を目指す学生の皆さんや現職の先生方とともに教育のあり方や教師としての生き方について学びを深めることができたらと考えています。

実務家教員の一人として教育現場で培ってきた経験を生かし、少しでもお役に立てるように一生懸命努力していきたいと思っております。どうか皆様方のご指導を宜しく申し上げます。

■ センター研究紀要が発行されました

附属教育実践総合センターでは、教育実践学研究の推進に資する論文の発表の場として、年に1回「センター研究紀要」の「教育実践学研究」を発行しています。最新号の第23号が3月31日に発行されました。教育実践総合センターWebのトップページ

<http://www.cer.yamanashi.ac.jp/>

から、メニューの「センター刊行物」－「センター研究紀要」とすすんで、ご覧ください。

また、センター研究紀要に掲載されている論文の題目、著者、要約、キーワードのみを印刷したリーフレットを配布していますので、ご希望の方は、教育実践総合センター事務室（J424）までおこしください。

これまでのセンターだよりの一部は、<http://www.cer.yamanashi.ac.jp/centerdayori.html> で見ることもできます。